

ラーニング・サポーター ♪ 3月のつばやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生・学部 3、4 年生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つばやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<3月のつばやき♪INDEX>

- p1 研究室選びと卒業研究について @物質生物科学科サポーター(学部4年) 3月11日 up
- p1 桜の花とアーモンドの花 @被服学科サポーター(大学院博士課程後期1年) 3月16日 up
- p2 桜の歴史と日本 @史学科サポーター(大学院博士課程前期2年) 3月23日 up
- p3 3月14日は何の日? @数物科学科サポーター(大学院博士課程後期2年) 3月15日 up
- p3 春分の日 @史学科サポーター(大学院博士課程前期1年) 3月11日 up
- p4 何気ない春の始まりに @日本文学科サポーター(大学院博士課程前期1年) 3月28日 up

つばやき 1 ♪

研究室選びと卒業研究について

日に日に明るい日差しが差し込むようになり、春の訪れを感じるようになりました。春休みはいかがお過ごしでしょうか。

今月は、1年間卒業研究をしてみて、過去の自分に教えてあげたいと思ったことをお話します。あくまで個人的見解なので、いいなと思っていただけなもののみ参考にしていただければと思います。

まず、研究室選びについて悩む方も多いと思います。「研究内容を調べてみても難しく分からないから、自分はこの研究室に行かない方がいいのかな」と思うかもしれません。でも、そこで可能性を狭めないでほしいです。研究をするにあたり、様々な知識が必要になります。それは、1つの分野に限らず、色々な分野から横断的に学ばないと得られないかもしれません。配属される研究室が決まってから、その研究に必要な知識を勉強するのでも決して遅くはありません。知らなければ、学んで知れば良いのです。時期が遅かれ早かれ、誰もが無知の状態から勉強して知識を得ているのです。今の時点でその分野の知識に疎いからといって、その研究を選択肢から除外してしまうことはもったいないと思います。

また、「この研究がしたい！」と思えるものに出会えていない方もいるかもしれません。その場合、自分の好きな分野を基礎とした研究をしている研究室を選ぶのが 1 つの手かもしれません。たとえ自分の関心にぴったり合う研究を行えなくても、研究をしていくうちに楽しくなりますし、自分の研究に愛着が湧くことも多いと思います。

以上から、研究室選びに関しては、現時点での知識量に左右されず、自分が関心のある分野、研究内容から選んでみるのが 1 つの方法だと思います。

そして、卒業研究では、日々の実験内容とその結果(写真も含める)を、簡潔でいいので Word 等で文書としてまとめておくことがおすすめです。実験ノートに記録するのはもちろんのこと、文書ファイルとしても保存しておくことで、研究発表準備や卒業論文執筆を手際よく行えると思います。参考になるものがあったら、ぜひ取り入れてみてください。

理学部物質生物科学科 4年

- * 自己紹介
 - ・学芸員資格取得予定
 - ・得意科目: 分析化学、物理化学
 - ・研究分野: X線物理化学
- * サポート内容
 - ・履修の相談
 - ・勉強の進め方
 - ・Word、Excelの使い方
- * みなさんへの一言
 - ・学修相談や、学生生活のこと、些細なことでも構いませんので、困ったことがあったらお気軽にご相談ください。

- ・参考文献の探し方、集め方
- ・レポートの書き方



つばやき 2 ♪ 桜の花とアーモンドの花

日記を書こうと思って長続きしなかった私は、今年の 1 月からポストカードに日記を書き始めました。その日にあった出来事にあわせたカードを選びながら日記を書く、といった新しい楽しみが出来たためか今も日記を書く習慣は続い

ています。

つい先日、「ひまわり」で有名なゴッホ (Vincent Willem van Gogh, 1853-1890) のポストカード集を購入しました。その中に「花咲くアーモンドの木」(Almond Blossom) (1890年) を見つけた時、私は思わず桜の花の作品だと思いました。ゴッホは「タンギー爺さん」(portrait of père Tanguy) などにもみられるように、日本の浮世絵に興味を持ち、様々な作品に描いていたので桜の花も描いていたのだと考えたのです。しかしこの絵画は、南フランスの精神病院に入院していたゴッホが弟テオ (Theodorus van Gogh, 1857-1891) のもとに生まれた子供のことを祝って描いたものでした。

ゴッホの絵画を知ったことと、今月号の図書館だよりで史学科の臼杵先生がアーモンドの花について紹介されていた記事を読み、よく似た桜とアーモンドの花に興味を湧いたので、花言葉について調べてみました。

桜の花言葉には「優美な女性」のほか、桜の花が散る儂い様子を恋人が別れるせつなさを重ね合わせて「私を忘れないで」といった意味があります。アーモンドの花には、厳しい冬が終わり暖かな春を知らせるように咲くためか「希望」のほか、アーモンドが旧約聖書に登場するのに加え、中世の宗教画のモチーフとして描かれることがあったために「真心の愛」などの意味がありました。その土地の文化や考え方などが感じられますね。

様々な花が咲く季節になりました。皆さんも花言葉や絵画に描かれる花などについて調べてみたいいかがでしょうか？

最後に、2021年度日本女子大学を卒業あるいは終了される皆様、ご卒業おめでとうございます。

人間生活学研究科
生活環境学専攻 博士1年

★所属

- ・文学部史学科 卒業
- ・家政学研究科被服学専攻修士 卒業
- ・人間生活学研究科生活環境学専攻 所属

★研究分野

- ・西洋服飾史(主に18世紀フランスの貴族社会)、服飾美学

研究テーマはボンパドゥール侯爵夫人と18世紀フランスにみられる宝石彫刻

★一言

学芸員・博物館資格の授業を履修中

大学院への進学、勉強の仕方、今までと違った学校生活など

悩んでいる皆さん、どうぞお気軽に♪



つばき3 ♪ 桜の歴史と日本

3月20日に卒業・修了された皆様、ご卒業・ご修了おめでとうございます。桜は満開とまではいきませんが、ちらほらと日本女子大学のキャンパスでも見られるようになりましたね。今年は3月17日に全国で最初となるソメイヨシノの開花が福岡県で観測されました。テレビ等の開花予想を見ると今年の開花は平年並みか平年より早いそうです。4月の入学式にはもしかしたら満開の時期は過ぎてしまうかもしれません。今回はそんな桜の話をしたと思います。

日本と桜の関係においてまず思い当たるのは和歌で読み込まれていることではないでしょうか？しかし日本において桜との関わりを示すもっとも古い記録は福井県鳥浜貝塚遺跡の縄文時代前期の地層から出土した弓になります。弓の両端の弦の部分を桜の樹皮で巻いていたことが確認できています。こうして実用的に用いられてきた一方で現代でも見られるように桜を鑑賞の対象としていたことが『万葉集』からうかがえます。

そんな古代から日本において鑑賞されていた桜ですが現在はたくさんの品種を目にすることができます。日本での最古の品種はナラノヤエザクラで聖武天皇が奈良県の三笠山で発見して移植したと伝えられます。鎌倉・室町時代になりますと現在にも伝わる品種が増えますが、爆発的に増加するのは江戸中期です。文献によると江戸時代を通じて400近い品種が名を連ねています。そして桜の品種が増加した江戸時代の始めに豊臣秀吉が京都醍醐寺の三宝院で豪華な花見の宴を催しました。秀吉は近江などの各地から桜を移植させ、宴の光景は『醍醐花実図屏風』にも描かれ、秀吉主催の桜の宴が如何に豪華であったかがうかがえます。(以上『日本大百科全書』を参照)

古代から鑑賞されていた桜ですが、もちろん私も好きな花の一つです。3月下旬になると桜の開花が待ち遠しく、自宅の近くや通学路の桜を見るのが楽しみになっています。そして今は自宅にも植えられている枝垂桜が咲くのが楽しみです。

文学研究科 史学専攻 修士3年

◇

◆**専門**◆
日本中世の仏教史。特に寺院の法会について研究しています。

◆**取得資格**◆
・中学校教員免許(社会科)
・高校教員免許(地理歴史科・公民科)
・専修免許状(取得予定)

◆**主なサポート内容**◆
・資料の探し方 ・レポート・レジュメの書き方
・大学院進学について ・教員免許取得の相談 etc...

～JWUラーニング・コモンズさくらをご利用する皆さんへ～

普段の授業では中世の史料や江戸前期の史料等を読んでいます。私の専攻は日本史ですが、様々な相談をラーニング・コモンズでは受け付けておりますので、どうぞお気軽にご利用下さい！

つばやき4♪ 3月14日は何の日？

冬の寒さが和らぎ、梅の花も咲き始める暖かな気候となりました。桜の花はまだ咲かないかなと目白通りの木々を見てしまう毎日です。

みなさんは「3月14日は何の日？」と聞かれたら何と答えますか？真っ先に思いつくのはホワイトデーではないでしょうか。バレンタインデーに贈った相手からのお返しは嬉しいですね。私も父からプレゼントをもらいルンルンでした(笑)

実は、3月14日は他にも意味がある日なのですが…。3と1と4のこの並び…。どこかで見たことはありませんか？3.14。そう、円周率の最初の3つの数字の並びですね。世界的には、円周率 $\pi=3.1415926\dots$ の近似値 3.14 に因んで、3月14日を「円周率(カ)の日」と定めています。

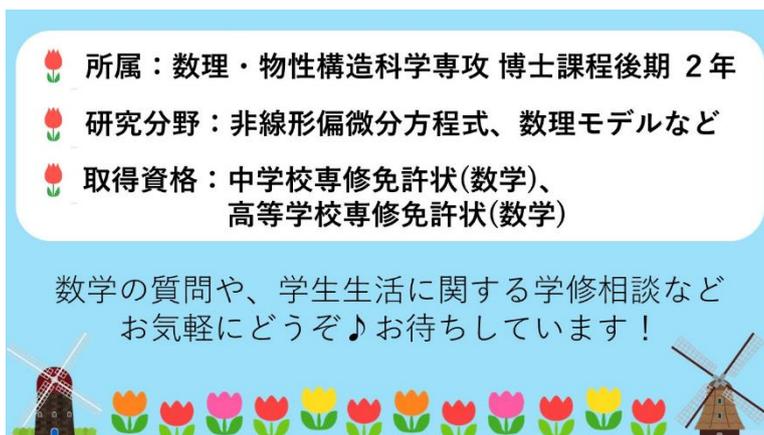
多くの国では、 $\pi=3.14159\dots$ の数字の並びから、3月14日の1時59分または15時9分にパイを食べたり、 π について議論したりしてお祝いするそうです。あるゲームでは、この円周率の日をお祝いするグッズとして“ π (Pi)を象ったパイ(Pie)”がありますね。

また、中国では、新年から数えて355日目となる12月21日を円周率の日としています。これは、中国の南北朝時代の数学者祖冲之(そちゆうしが)が、 π の値を $355/113=3.141592\dots$ で定めたことに由来します。この355と113の数字から、中国では12月21日(新年から355日目)の1時13分(113)に、円周率の日をお祝いするそうです。

この円周率の日に対し、世界には円周率近似値の日というものも存在します。欧州では日付をスラッシュで表しますね。7月22日は $22/7$ と表しますが、このスラッシュを割り算の記号とみなして計算すると、 $22/7=3.14285\dots$ となるため、7月22日を円周率近似値の日としているそうです。

他にもアメリカでは、円周率の日に加えて、生地を何度も折り返して層を作るパイはホワイトデーの贈り物にふさわしいとの理由から、3月14日は「パイ(Pie)の日」でもあるそうです。

今回は円周率の日にあつたつばやきでした。いかがでしたか。私も来年は、“ π (Pi)を象ったパイ(Pie)”を食べながら円周率の日をお祝いしたいです。



所属：数理・物性構造科学専攻 博士課程後期 2年
 研究分野：非線形偏微分方程式、数理モデルなど
 取得資格：中学校専修免許状(数学)、
 高等学校専修免許状(数学)

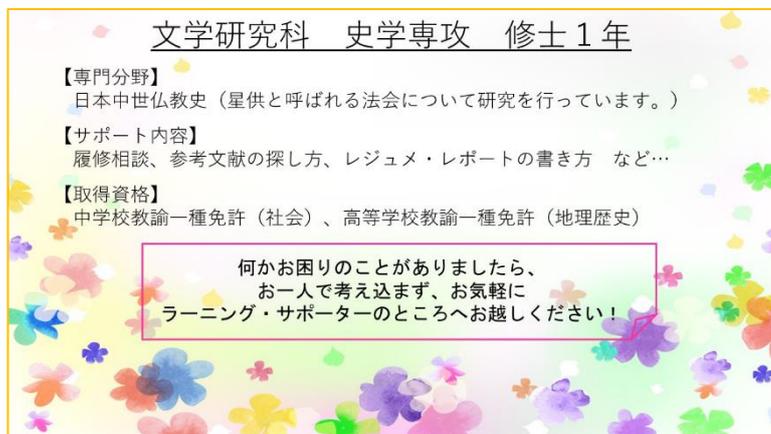
数学の質問や、学生生活に関する学修相談など
 お気軽にどうぞ♪お待ちしております！

つばやき5♪ 春分の日

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？気がつけばもう3月ですね。本当に時の流れは早い…。今月も頑張らしましょう！

ところで、今月は「春分の日」がありますね。春分の日、昼と夜の長さがほぼ一緒になることはご存じかと思います。昨年12月頃、16時50分にサポーターの業務が終了し、サポーター席から外を見ると、ほぼ暗くなっていました。しかし、最近日は長くなり、16時

50分に業務が終了しても、外はまだ明るい。毎週、サポーター席からも時の流れを感じています。ちなみに、今年の春分の日、東京は、日の出は5時44分、日の入は17時53分、昼の長さは12時間9分です。冬至の昼の長さと比較すると、およそ2時間24分程度、長くなります。これだけ日中の時間が長くなると、朝や夕方の時間も活動しやすくなり、とても嬉しいです。夕方まで明るいので、私はサポーター業務が終わり大学から帰る際は池袋駅まで歩き、気分転換を行っています。散歩をするのも、気持ち良い季節になってきたなと歩きながら感じます。また最近



文学研究科 史学専攻 修士1年

【専門分野】
 日本中世仏教史(星供と呼ばれる法会について研究を行っています。)

【サポート内容】
 履修相談、参考文献の探し方、レジュメ・レポートの書き方 など…

【取得資格】
 中学校教諭一種免許(社会)、高等学校教諭一種免許(地理歴史)

何かお困りのことがありましたら、
 お一人で考え込まず、お気軽に
 ラーニング・サポーターのところにお願いします！

は気温の高い日が続き、春を感じられる機会も増えました。桜ももうすぐ咲きそう…。楽しみです。

最後に。この春ご卒業、ご修了される皆様、おめでとうございます。日本女子大学での学生生活は如何だったでしょうか？あつという間だったという方もいれば、長かったと感じる方もいるのではないのでしょうか。ですが、このキャンパスで過ごし学んだ日々は一生の宝物となり、今後の人生にも多く活かすことが出来ると思います。どうかこの四月からも力を入れすぎず、健康に気をつけて充実した日々を送ってください。皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

| 東京 | 日の出 | 日の入 | 昼の長さ |
|------------------|------|-------|--------|
| 冬至(2021年12月22日) | 6:47 | 16:32 | 9時間45分 |
| 春分の日(2022年3月21日) | 5:44 | 17:53 | 12時間9分 |

つばやき6♪ 何気ない春の始まりに

私はNセメント会社の、セメント袋を縫う女工です。私の恋人は破砕器クラッシャーへ石を入れることを仕事にしていました。そして十月の七日の朝、大きな石を入れる時に、その石と一緒に、クラッシャーの中へ嵌まりました。

—葉山芳樹『セメント樽の中の手紙』

セメントあけをしている貧しい労働者・松戸与三。彼がセメント樽の中に見つけたのは小さな木箱だった。それは頑丈に釘打ちされた木箱で、中には「ボロに包んだ紙切れ」が入れられていた。そこに書かれていたのが冒頭に引用した女工の告白である。「私の恋人はセメントになりました。私はその次の日、この手紙を書いて此樽の中へ、そうと仕舞い込みました」。淡々と語られる彼女の言葉は、読み進めるのを躊躇うほどに残酷な光景を映し出す。手紙を読み終えた松戸は「へべれけに酔っ払ってえなあ。そうして何もかも打ち壊して見てえなあ」と怒鳴るが、その目に映るのは妻の大きな腹の中にある七人目の子供であった。

原稿用紙七枚ほどの短篇には労働者の過酷な現実が描かれていく。無論、その手紙の内容が真実である証拠はなく、或いは遊び半分のいたずらであったのかもしれない。手紙そのものの信憑性は作中の描写からは保証できない。本作における紛れもない真実は、それが松戸に「何もかも打ち壊して見てえなあ」と感じさせたことだけである。

自らの力ではどうしようもない状況にあって目の前の全てを投げ出したくなる気持ち。プロレタリア文学初期の名作と現代との間には時間的な隔りがある。しかし、同じ葛藤を心に抱いている人は今日にも大勢いるのかもしれない。毎日移り変わるトップニュースに明るい話題はないけれど、街を歩けば桜の蕾がほころんでいることに気付く。昨年の春に見つけた一本の桜の木。1年前と同じようにぼんやりと眺めながらも、何気ない毎日に感謝できる人でありたいと、ただそれだけは1年前と違う気持ちで今年の桜の満開を待つ。

文学研究科 日本文学専攻

▶ **自己紹介**
 ・博士課程前期1年 (M1) 近代文学専攻
 ・資格: 教員免許 (中高国語)

▶ **研究対象**
 学部時代から引き続き、大正から昭和にかけて活躍した作家・宇野浩二の作品を研究しています。

▶ **ひとこと**
 演習授業やレポートについてはもちろんのこと、教職の模擬授業や教育実習について、大学院進学相談など、ぜひお気軽にいらしてください。



ラーニング・サポーターのつばやき (2022年3月)
 ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html
 編集: JWU ラーニング・コモンズ さくら